

平成27年1月15日 富山県立山町長 舟橋貴之

黒部ダム (S38 関西電力) のおかげで いまの立山町があるようなもの



立山町の環境施策の歩み

平成元年 第1回みどりの日(4月29日)

「みどり維新の町」宣言

平成3年 資源ごみ分別「立山方式」(売却金還元)

平成18年 町有施設から出る生ごみを堆肥化

平成21年 学校に太陽光パネル

文科省「スクール・ニューディール構想」

ところで、平成18年に富山県内で起きた事件は

立山町長に舟橋貴之氏 ではなくて

平成18年 熊の人身被害が多発

熊のエサとなる **どんぐり**の不作が要因のひとつ

間伐を適切に進めることが大事。

過疎化が進み、
里山が荒れたことも原因の一つ



全国各地で**放置竹林**が悩み

21年度から、
厚労省の緊急雇
用対策で**竹林**伐
採・チップ化

竹チップを畑に散
布(雑草防止・土
壌改良材に)

パウダー化し、発
酵飲料に。



間伐を進めるために 木を使う

燃料にすれば効率的
農水省「地域バイオマス
利活用交付金事業」



平成19年

公共施設に木質ペレット
ストーブを10台配置(県内
最多。現13台)

平成20年

保育園の床暖房に木質ペ
レットボイラー(富山県初)

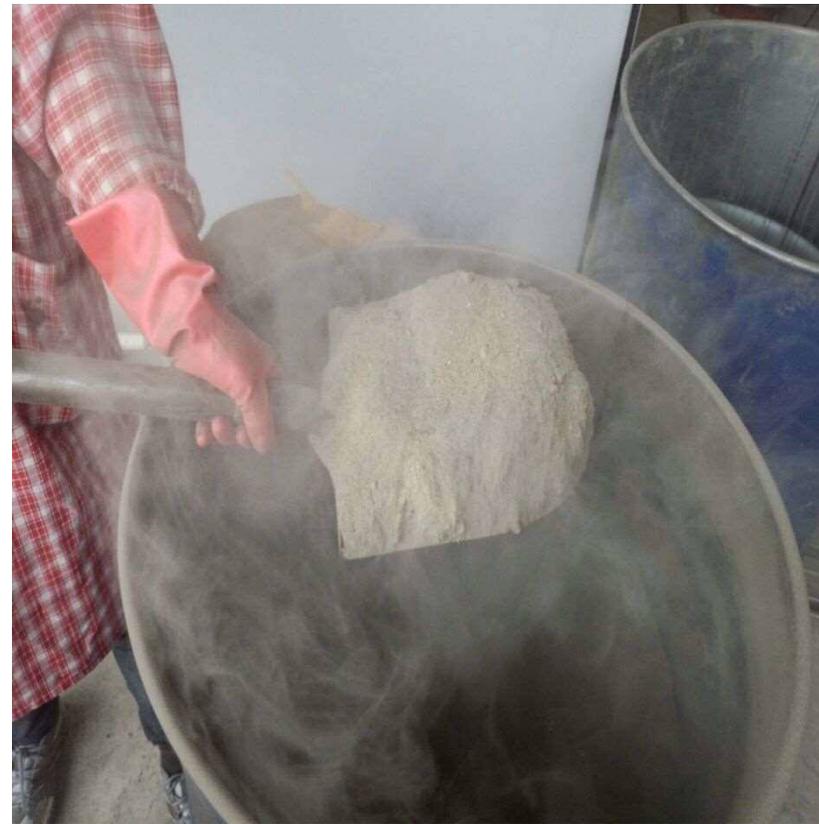


木質ペレット燃料の灰は、田畑の 土壌改良材としても活用できます

平成22年

第3セクター「グリーン
パーク吉峰」温泉のボイ
ラー燃料を灯油から木質
ペレットに(富山県初)

CO₂を436 t /年削減



標高差3,000mを活かした、 小水力発電

富山県の年間降水量は2,787mm(全国平均の1.5倍 2013年)

豊富な農業用水

平成21年 県企業局が立山町内の用水路で小水力発電。

立山町は地元対策で側面支援。県から固定資産税相当の交付金あり(^o^)



今後、高齢化により社会保障費の増大が財政を圧迫する

そこで、CO₂削減も大事だが、ランニングコスト(将来負担)削減に力を入れたい。

町職員数を削減⇒町立保育所を民間委託に

ただし、

公設保育所の建設に、三位一体改革により厚生労働省の補助金はなくなってしまった

26年度 かがやき保育園建設事業



用地費は、公園に近接させることにより、**国土交通省**の
1/2補助

建築費は、林野庁の1/2補助 ⇒ 木造は**CO₂** 吸収

さらに民間保育園の経営を考慮し、ランニングコストも減ら
したい。

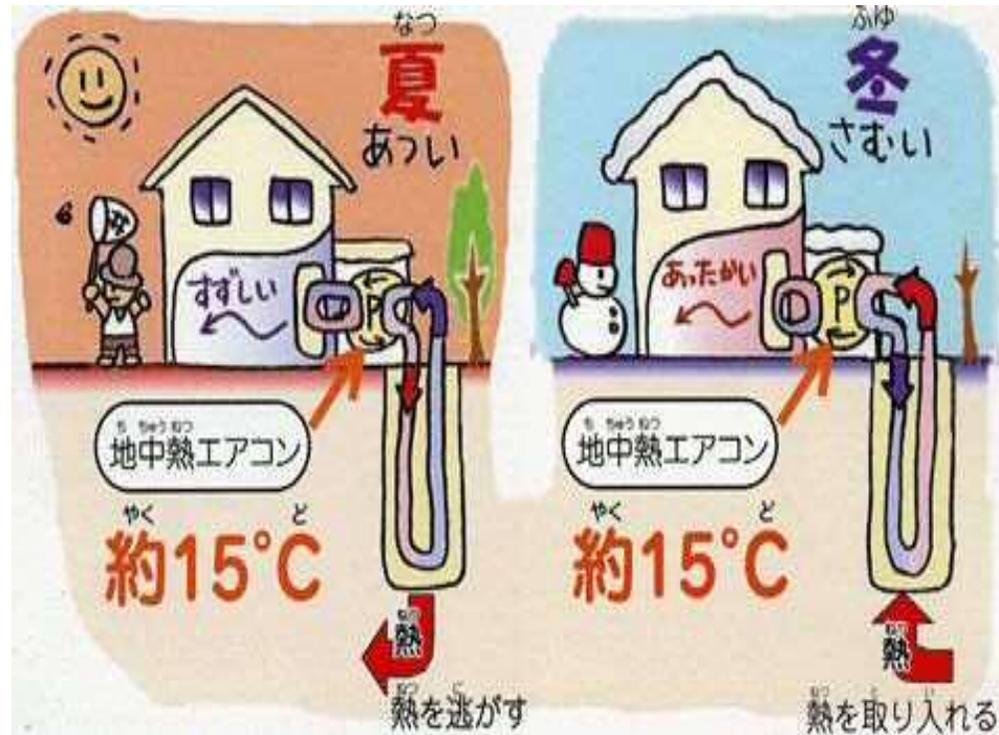
そこで、

26年度 環境省 地中熱等の利用による 低炭素社会推進事業

外気の代わりに
温度が一定の地
下水を利用する

地中熱空調(地下
水利用型。立山に積
もった雪解け水が地
下に浸透)

CO₂を32t/年削減



26年度 環境省 先導的「低炭素・循環・自然共生」地域創出事業(GPP)

①役場庁舎(S40竣工 築50年)

灯油ボイラー空調 → 電気高効率空調 工事中

②五百石公民館(商工会事務所との複合施設)

プロパンガス空調 → 電気高効率空調 完成

CO₂ ①と②を合わせて**53t/年削減**

③特別養護老人ホーム竜ヶ浜荘(民間)

灯油ボイラー空調 → 電気高効率空調 完成

CO₂ 24時間稼働だから**54t/年削減**

ヒートポンプを町民に普及

26年度補正 地域住民等生活支援のための交付金「**地域消費喚起型・生活支援型**」の活用**案**

1. **電気温水器**を**エコキュート**の切り替え工事に20%（最大10万円）
2. **ガス給湯器**を**エコジョーズ**に20%（最大5万円）
3. **灯油ボイラー**を、**停電時自立型石油給湯器エコフィール**にすると20%（最大7万円）

平成27年度 立山町商工フェアに併せて、 「みんなでCO₂削減フェア」を開催予定

平成27年11月8日(日)

会場は**役場の敷地**。

保育園も近くにあるので、施設を案内できる。
所管の商工観光課職員が**エコ・アドバイザー**。

農産物販売(竹茶ほか)に併せて生ごみ堆肥、**木質ペレットストーブ**等の展示・販売。⇒**その他**



防犯灯のぜんぶを、LED化

これまで、防犯灯の大半(3,453灯)を自治会が管理
新たに設置する場合は、要望した自治会が
設置工事費の1/2、電気料金の1/4 を負担だった。

そこで、25年度 環境省

「小規模地方公共団体におけるLED街路灯等導入促進事業」

電気料金は自治会と町を合わせて600万円/年を削減

10年リースなので、10年間は修繕費が不要。

しかも、10年経つと、町の資産になる仕組み。

⇒ CO₂ を 323t /年 削減

町民のもっとも多くが訪れる場所

役場庁舎をまるごとエコ化

庁舎に電気自動車充電スタンドを設置。

立山室堂(2,450m)までEVカーで登ります。

- ・カーポート(公用車)一体型ソーラーパネル
- ・庁舎内の照明をLED化し、高効率空調導入と併せて、光熱費削減を見える化した。



アルペンルート「雪の大谷」